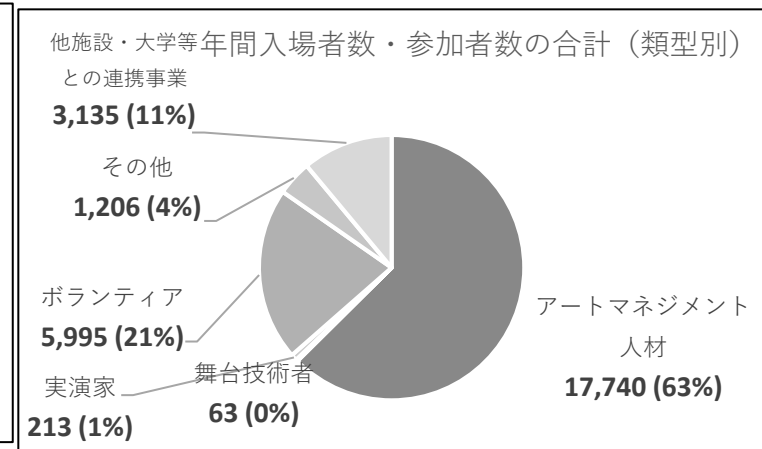
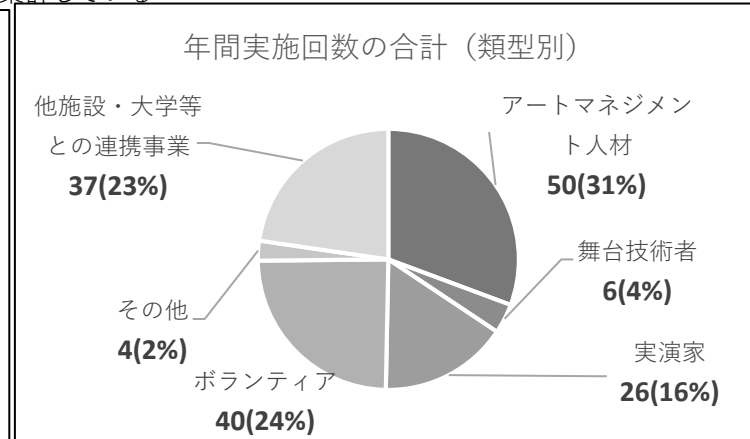
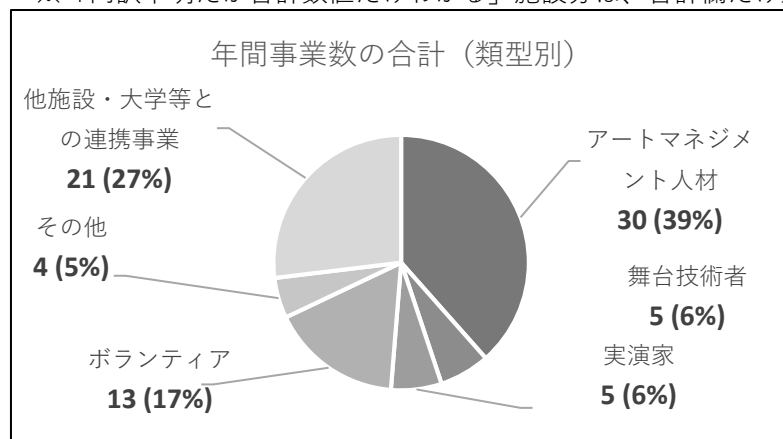


イ 人材育成事業【令和元年度】

類型	対象	A 回答者数	A ÷ 調査対象数(63施設) × 100	年間事業数 (件)		年間実施回数 (回)		年間入場者・参加者数 (人) ※観覧者、出演者等	
				B 合計件数	1施設当たりの平均(B ÷ A)	C 合計回数	1施設当たりの平均(C ÷ A)	D 合計人数	1施設当たりの平均(D ÷ A)
自館で行うもの	アートマネジメント人材	6	9.5	30	5.0	50	8.3	17,740	2,957
	舞台技術者	5	7.9	5	1.0	6	1.2	63	13
	実演家	3	4.8	5	1.7	26	8.7	213	71
	ボランティア	8	12.7	13	1.6	40	5.0	5,995	749
	その他	2	3.2	4	2.0	4	2.0	1,206	603
他施設・大学等との連携事業		5	7.9	21	4.2	37	7.4	3,135	627
合計		17	27.0	78	4.6	163	9.6	28,352	1,668
【参考】調査対象数(63施設)の平均				年間事業数	1.2	年間実施回数	2.6	年間入場者等数	450

※「内訳不明だが合計数値だけわかる」施設分は、合計欄だけ集計している



※類型の注釈

自館で行うもの	人材育成をお目的とした養成講座、研修会、ワークショップ/レクチャー、研究会、コンクール等により、アートマネジメント人材や舞台技術者、実演家を養成する取組等の事業
アートマネジメント人材	実演団体・文化施設・鑑賞組織・支援団体等で、芸術文化の経営に携わる者
他施設・大学等との連携事業	他の劇場・音楽堂等や大学等教育機関との間で、研修生やインターンの実務を通じての研修事業（職員派遣や受入、指導職員の招へいや派遣等）

【補足】その他の概要(抜粋)

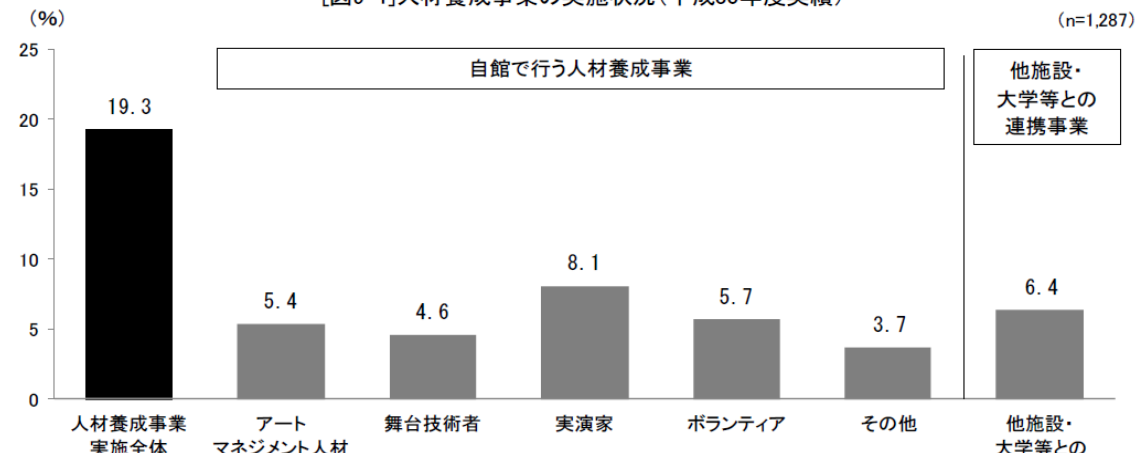
特別支援学校・盲学校の児童生徒作品展(入場者・参加者数304人)、福祉施設紹介・販売事業(入場者・参加者数830人)、小学生向けチャレンジ工作教室(入場者・参加者数40人)、高校演劇部を対象とした照明・音響・舞台技術講習会

【参考】劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査報告書(令和2年3月) (公益社団法人全国国立文化施設協会)

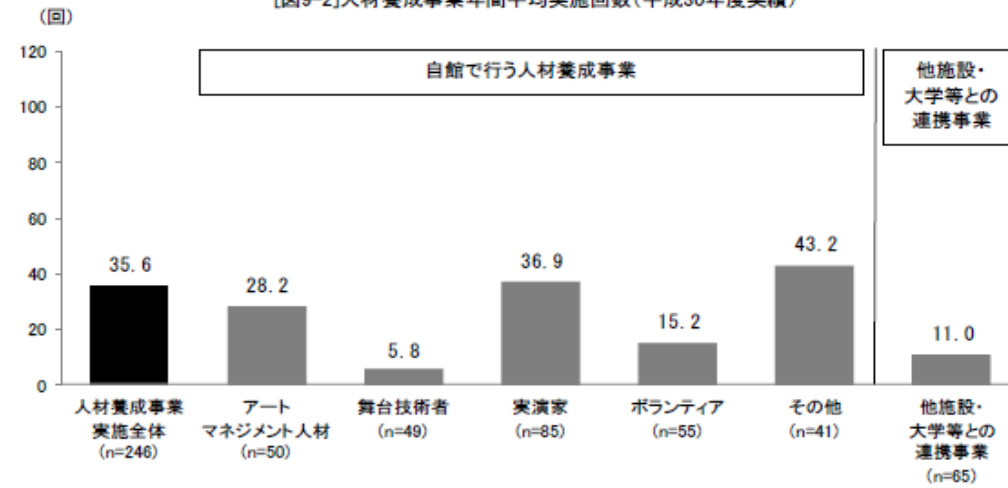
※平成30年度実績に係る調査報告書から引用

- 人材養成事業全体の実施率は19.3%、他施設等との連携事業は6.4%。「実演家」対象が多い。
- 人材養成事業全体の平均実施回数は年35.6回、参加者数1,691人。
- ・各人材養成事業を実施している施設ベースでの年間平均実施回数は、「人材養成事業全体」で35.6回、「他施設・大学等との連携事業」では11.0回となっている。
- ・自館で行う人材養成事業の中では、「その他」を除くと、「実演家」対象の事業の回数が36.9回と多い。
- 一方、平均の年間入場者・参加者人数は、「人材養成事業全体」で1,691人、「他施設・大学等との連携事業」で925人となっている。
- 自館で行う人材養成事業の中では、「実演家」対象が2,156人と多い。

[図9-1]人材養成事業の実施状況(平成30年度実績)



[図9-2]人材養成事業年間平均実施回数(平成30年度実績)



[図9-3] 人材養成事業年間平均入場者・参加者数(平成30年度実績)

